



平成29年3月3日

各位

上場会社名 株式会社稲葉製作所
 代表者 代表取締役社長 稲葉 明
 (コード番号 3421)
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 武田 浩
 (TEL 03-3759-5181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年9月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年7月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,650	百万円 625	百万円 705	百万円 445	円 銭 25.34
今回修正予想(B)	14,820	95	185	100	5.69
増減額(B-A)	△830	△530	△520	△345	
増減率(%)	△5.3	△84.8	△73.8	△77.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年7月期第2四半期)	15,146	847	939	573	32.68

平成29年7月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 32,840	百万円 1,740	百万円 1,910	百万円 1,240	円 銭 70.61
今回修正予想(B)	31,500	630	800	500	28.47
増減額(B-A)	△1,340	△1,110	△1,110	△740	
増減率(%)	△4.1	△63.8	△58.1	△59.7	
(ご参考)前期実績 (平成28年7月期)	31,699	2,029	2,224	1,424	81.13

平成29年7月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年8月1日～平成29年1月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 12,940	百万円 630	百万円 400	円 銭 22.78
今回修正予想(B)	12,325	145	80	4.56
増減額(B-A)	△615	△485	△320	
増減率(%)	△4.8	△77.0	△80.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年7月期第2四半期)	12,580	856	529	28.31

平成29年7月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年8月1日～平成29年7月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 26,970	百万円 1,660	百万円 1,090	円 銭 62.07
今回修正予想(B)	26,000	620	370	21.07
増減額(B-A)	△970	△1,040	△720	
増減率(%)	△3.6	△62.7	△66.1	
(ご参考)前期実績 (平成28年7月期)	26,157	1,849	1,206	68.72

修正の理由

(1) 連結

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、鋼製物置セグメントの売上はガレージ、イナバ倉庫の大型製品が堅調に推移したものの、価格競争等の影響により小型製品の売上が伸び悩んだことなどもあり当初予想を下回りました。また、オフィス家具セグメントの売上も価格競争等の影響により当初予想を下回りました。この結果、全体の売上高は前回発表予想を下回る見込みであります。

利益につきましては、売上減少による利益の減少に加えて、富岡工場の本格稼働に伴う配送ルートが増加等により荷役運送費が増加したこと、工場の効率化を進めるための追加投資発生の影響により減価償却費が増加したこと、新基幹システム稼働開始に伴う所定外労働時間の増加等により人件費が増加したことで、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回発表予想を下回る見込みであります。

通期の業績予想につきましても、当第2四半期累計期間の業績予想の修正および直近の受注動向、材料価格の上昇等を反映させ、前回発表予想を修正するものであります。

(2) 個別

個別の業績予想につきましては、連結業績予想の修正要因により売上高、経常利益および四半期純利益はいずれも前回発表予想を下回る見込みであります。通期の個別業績予想につきましても、連結業績予想と同様な理由により修正するものであります。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以上